

令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	2 年	学科	園芸福祉科	必選	
教科	農業	科目	生物活用	単位	3 単位
使用教材	生物活用(実教出版)				
学習目標	① 実践的・体験的な学習を通し、園芸作物の心身の健康及び社会的な健康に活用する方法を学ぶ ② 生物の特性を理解し、生活の質の向上につながるよう協働的・主体的に学ぶ姿勢を身に付ける ③ プロジェクト学習を通し、生物活用の視点から課題を解決する力を養う				
単元と内容					
1 学期	生物活用の意義と役割 園芸作物の栽培と利用	生物活用とは何か			
		私たちの暮らしと生物活用			
		私たちの暮らしと園芸			
2 学期	園芸作物の栽培と活用 生物を活用した療法 生物活用の実践	草花の種類と特性			
		花壇の活用と管理			
		植物を治療に活用する			
		園芸療法とは			
		交流活動の大切さ			
3 学期	生物活用の実践	交流活動の実施と流れ			
		交流活動の計画			
		活動のまとめと発表			
		交流活動の振り返り			
評 価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	生物活用について体系的系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。			
II	思考・判断・表現	生物活動における諸活動に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に課題を課題を解決する力が身に付いている。			
III	主体的に学習に取り組む態度	生物活用について、生物の特性を活用し生活の質の向上につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的行動的に取り組む態度が見られる。			
評価方法	観点Ⅰ		観点Ⅱ		年間時数
	学習状況の観察、記述の点検(ノート、ワークシート等)、定期考査、小テスト		学習状況の観察(発表等のパフォーマンスの評価)、記述の点検(ノート、ワークシート等)、定期考査		予定
					105 時間
					実施
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献			